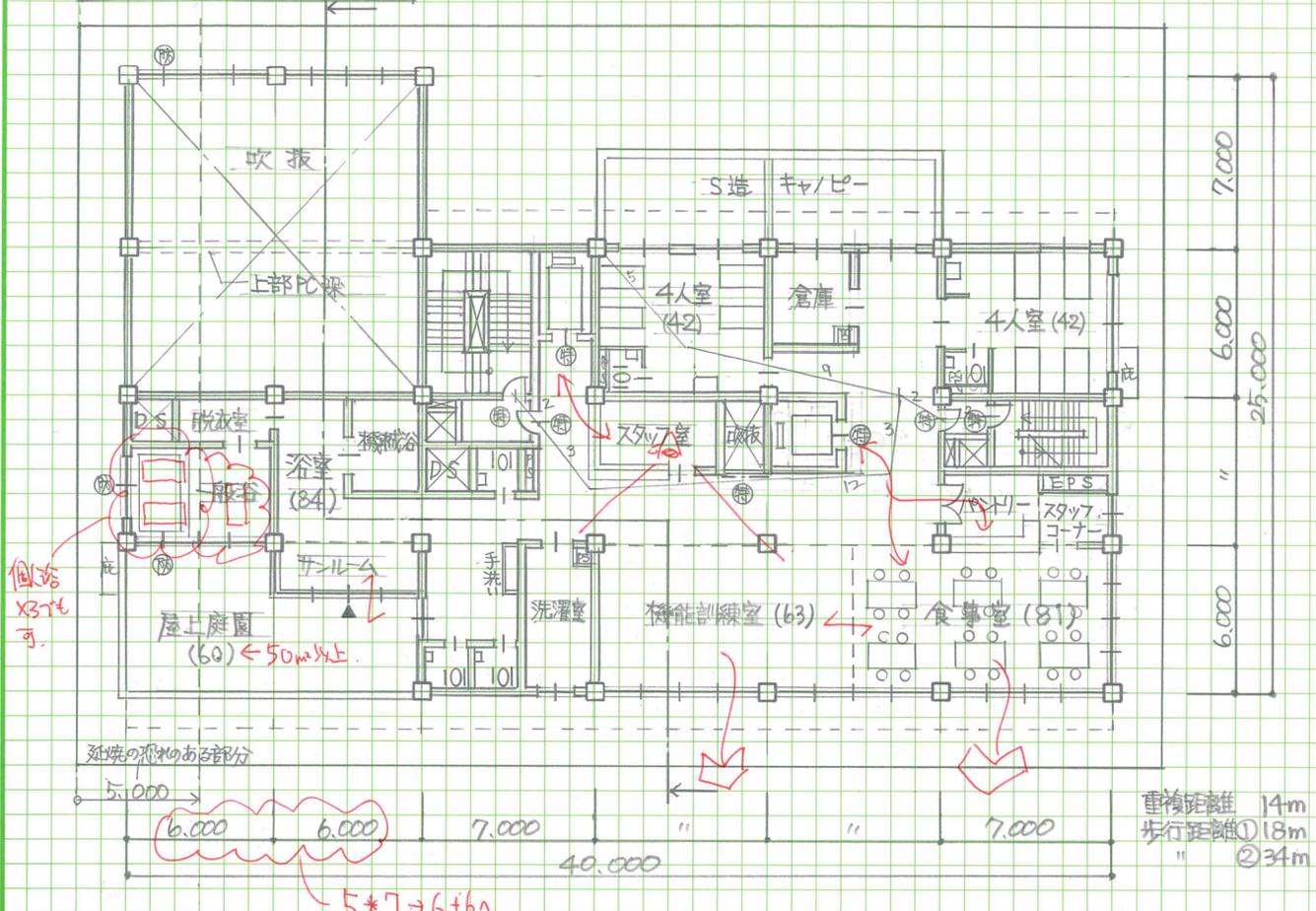
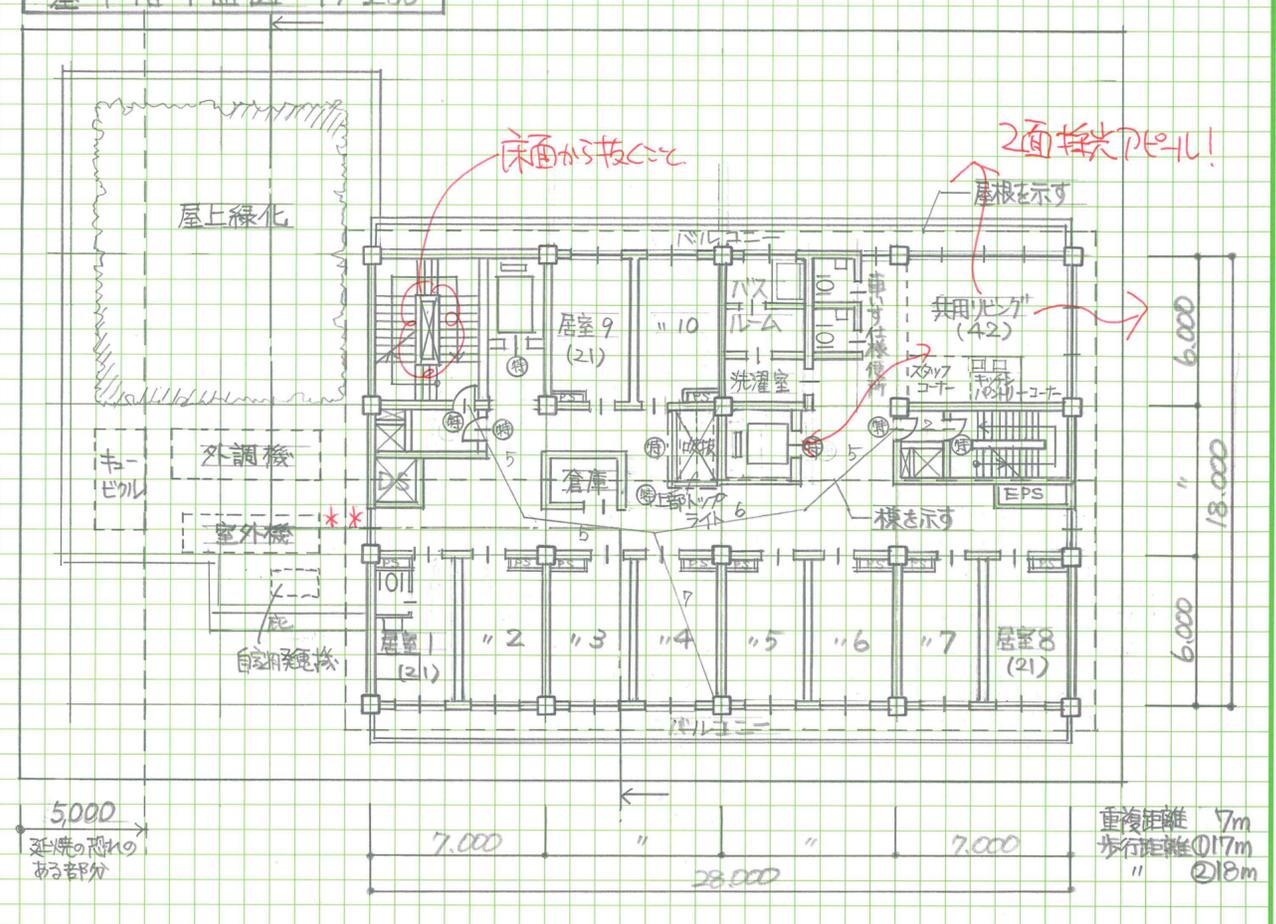


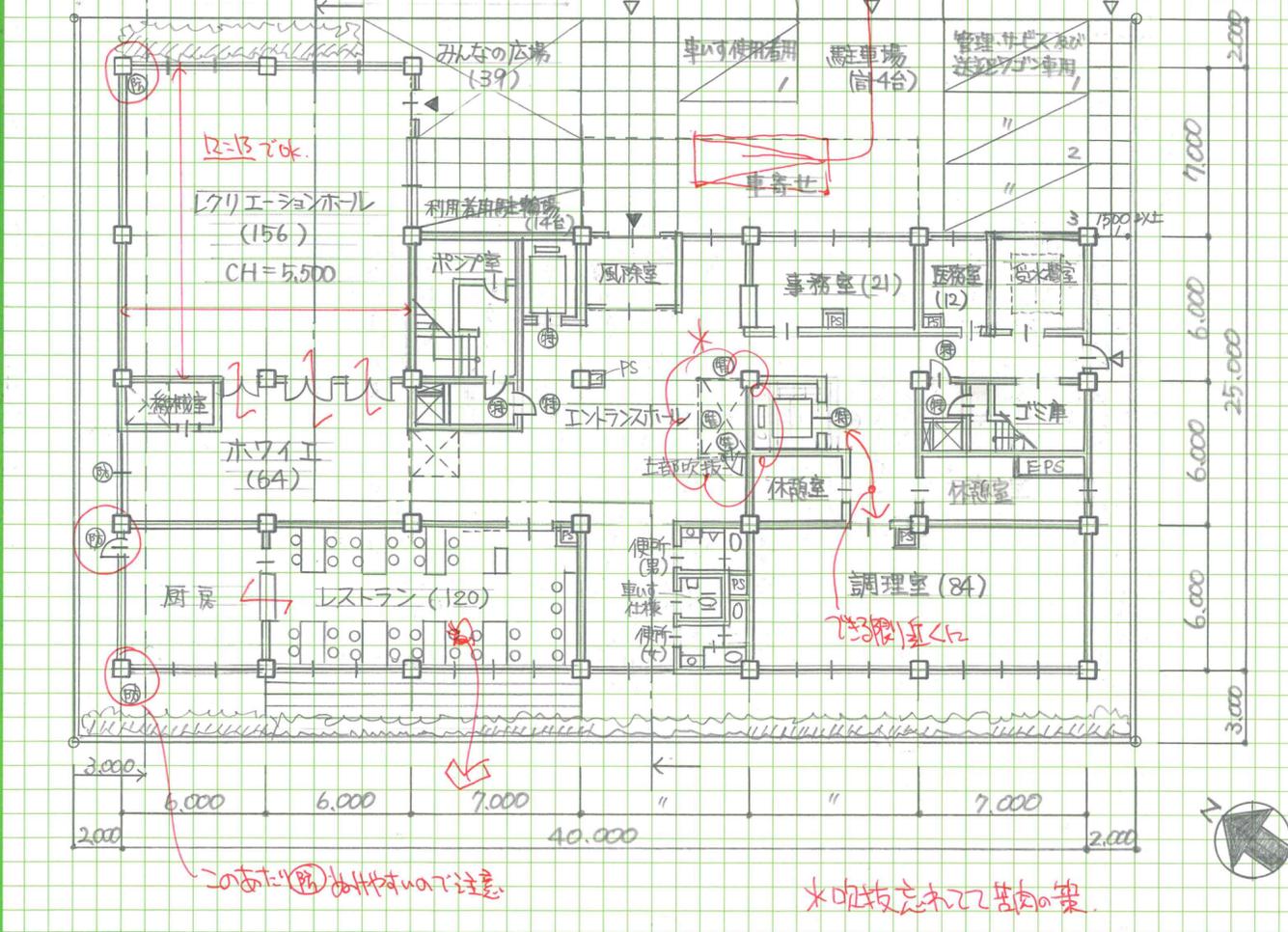
2階平面図 1/200



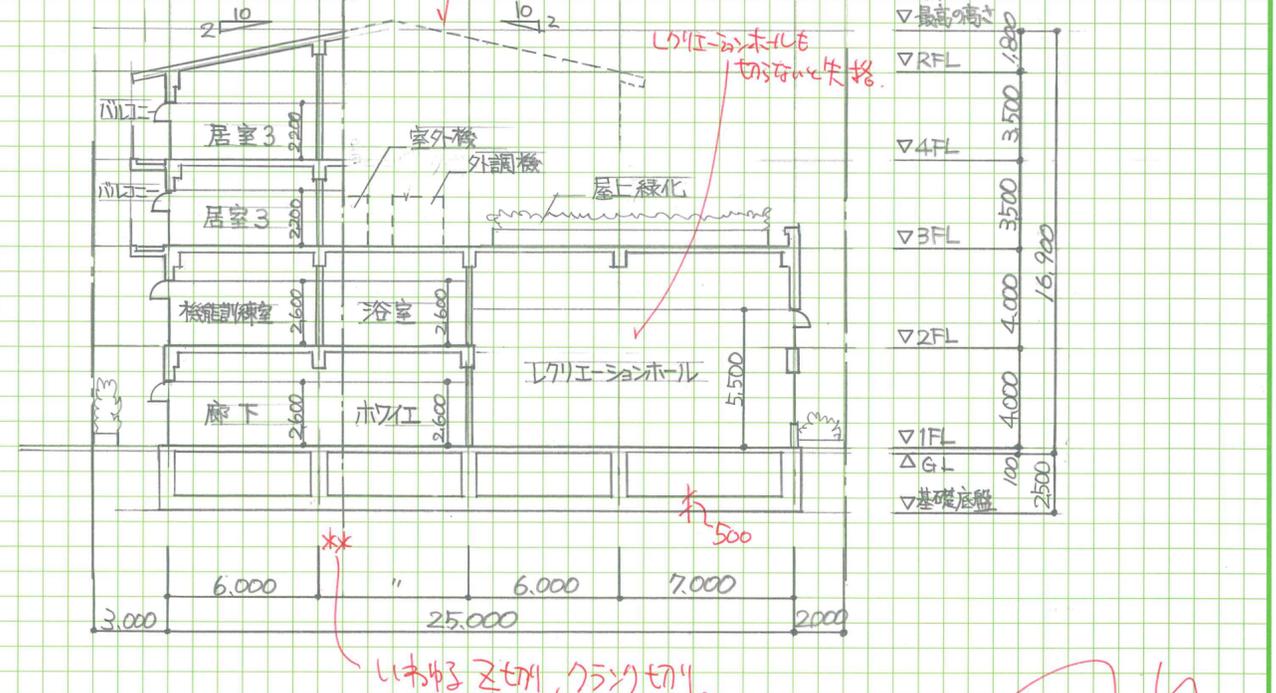
基準階平面図 1/200



1階平面図兼配置図 1/200



断面図 1/200

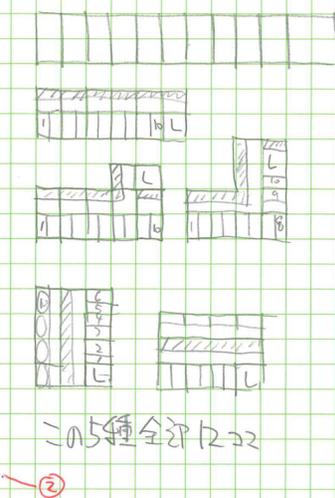


面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)		製図試験.com 答案用紙 I	エスケース	提出	添削	
建築面積 (算定式)	$40 \times 18 + 12 \times 7 + 28 \times 0.5 \times 2 + 14 \times 2.5$	853 m <sup>2</sup>	所感	枚数	課題No	
建ぺい率 (算定式)	$853 / 1320$	64.6%	Ver.!	作図	模試	
床面積	1階 (算定式)	$40 \times 18 + 12 \times 7 = 804$	合計	ID	20-0000	
	2階 (算定式)	$40 \times 18 - 12 \times 6 - 25 \times 1.0 - 2 \times 3 = 639.5$				2434.5
	3/4階 (算定式)	$(28 \times 18 - 25 \times 1.0 - 2 \times 3) \times 2 = 991$				
		495.5 × 2 = 991	ハンドルネーム	katsuwo		

ES00 全体の概況(1/7)

- ① 2ユニットが通常か → 2ユニット
- ② 2ユニット/12ユニット → 12ユニット → 大空間? 広さ?
- ③ 2ユニットは約20m<sup>2</sup>, 共用40m<sup>2</sup> → 40m<sup>2</sup> 7x6/6x7
- ④ 敷地 44
- ⑤ 高さ10m = 2Fまで
- ⑥ EV → (配置) 1F ④ 1F 2F 2F

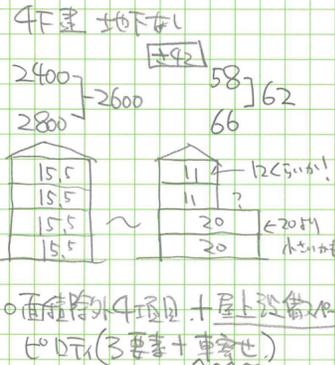
④ 間口数 62m



ES01 コンクリート読み

1. 設計条件
- ① 日照及び採光 → 共東(直上向き) ②
  - ② 主要な窓は南向き
  - ③ 4. 留意事項... 1つと異なる点を重点的に読み
  - (6) 外観仕様指定
  - (8) 非常用出入口
  - (9) 特種T 2トク
3. 要点  
→ 窓は南向き

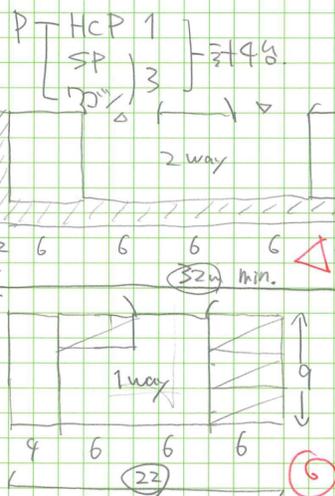
ES04 建築物



ES02 要求図書 = 2.3.7.3.4.2

- ④ 基準下は3F (階段注意)
- 1/4階のヤネ形状を破線でかく = Δ2-7
- ③ 1/4階のヤネの取付を含み、屋根勾配が ⑥

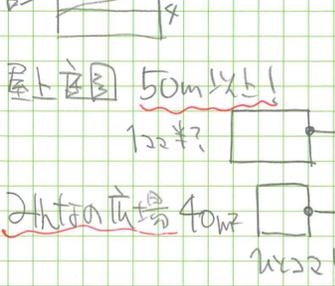
ES05 30m以上の施設



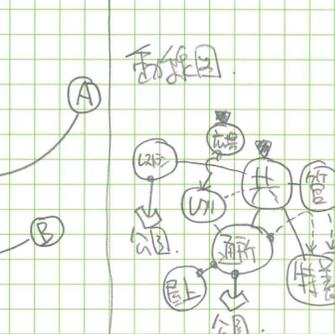
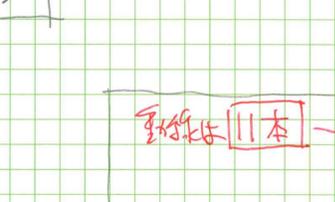
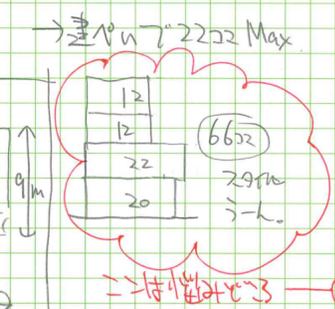
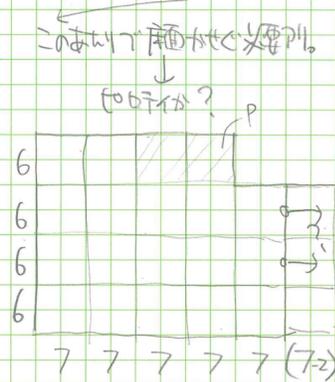
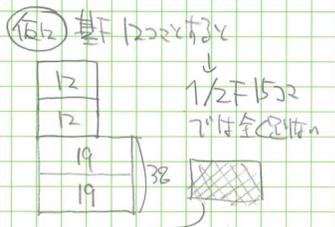
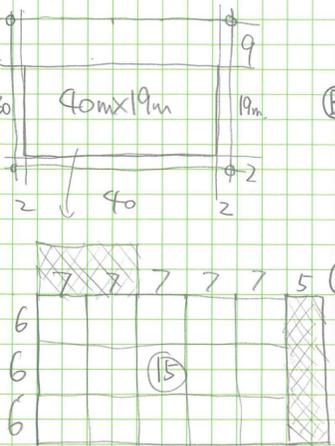
ES03 敷地読み

- 
- 標準層 → 西側は採光を7階までOK
  - 170% → 1320x0.9/24 = 42 = 2222m<sup>2</sup>
  - 主要な屋根は南向き
  - 西側10mは高さ10mまで (2Fまで)

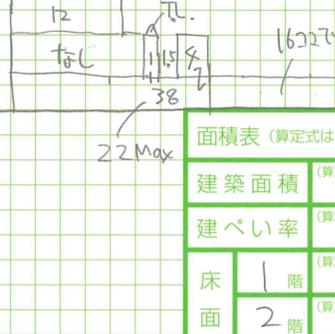
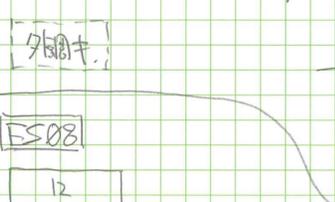
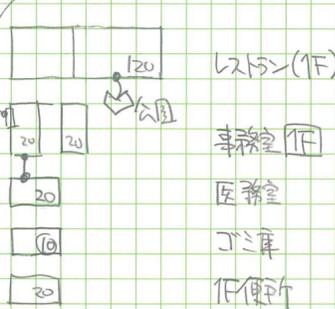
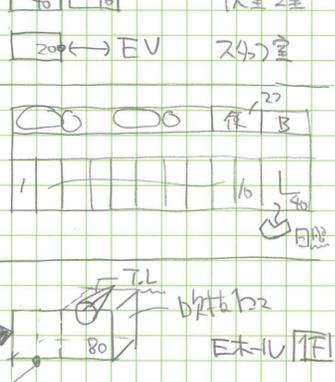
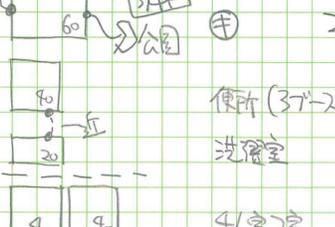
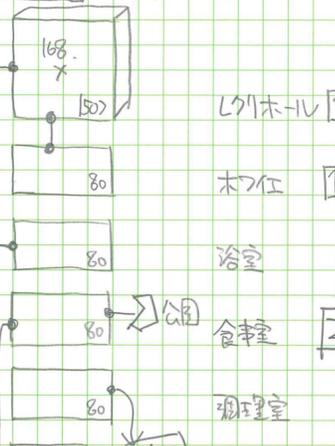
BS 5x4



ES06 最大平面



ES07 全室1267

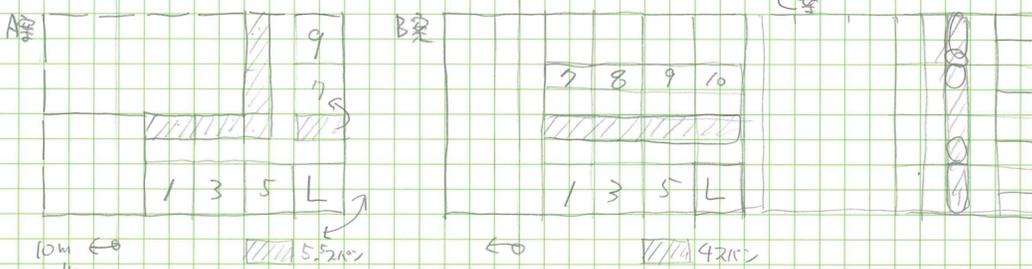


ES09 3注意点は⑨点あるが、②は敷地が大きい。③の木の1-2Fが採光面。あいつはいい感じだね。

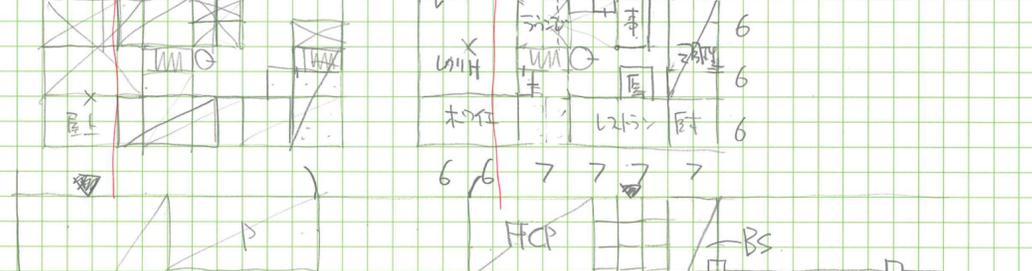
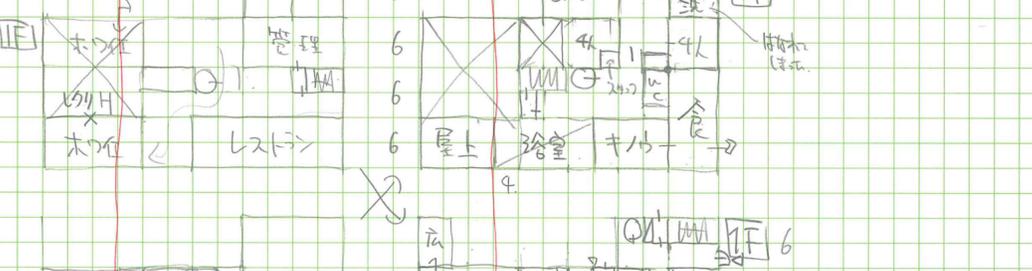
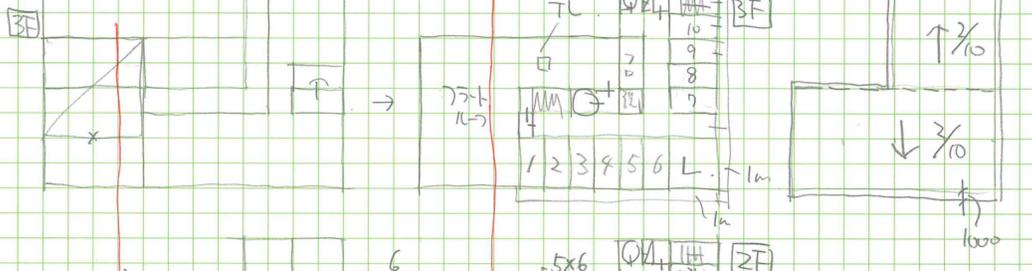
ES10

- ⑨ 採光面は1-2Fは通所があること。1-2Fは通所があること。1-2Fは通所があること。1-2Fは通所があること。

ES11



ES12 A室



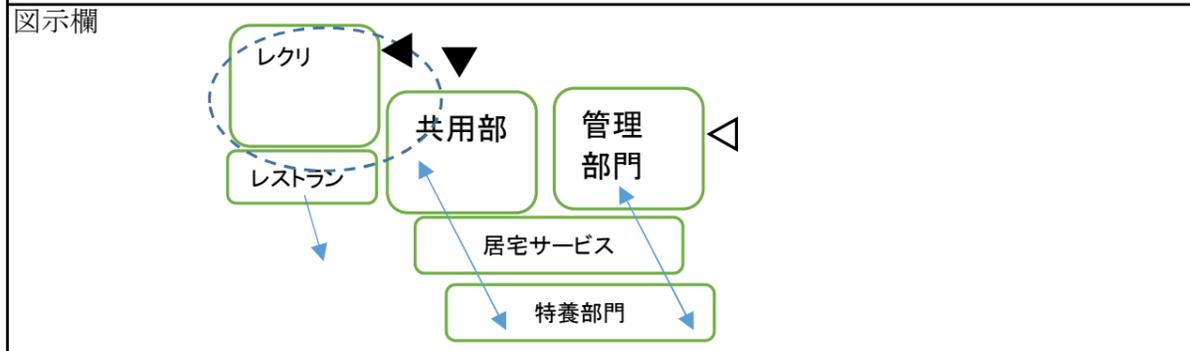
面積表 (算定式は、算出過程がわかるものとする。算出結果は、小数点以下第1位までとし、第2位以下は切り捨てる。)		製図試験.com 答案用紙I		エスキース	提出	添削
建築面積	(算定式) 816 + 14x3	858	858	分	枚数	課題名
建ぺい率	(算定式) 858/1320	65%	65%	分		Syn.
床面積	(算定式) 40x18 + 14x6 = 720 + 96 = 816	合計	2406	分	ID	20000000
2階	(算定式) 4x6 + 28x12 + 23x6 + 14x6 = 582				ハンドルネーム	ZONE
3/4階	(算定式) (28x12 + 14x12) x 2 = 504 x 2 = 1008					

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。

なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1) 建築物の動線・ゾーニングについて利用形態に応じて配慮した点(図示必須)

居宅サービス部門は主に2階に配置し、外部の訪問者の利用を考えレクリエーションホールは1階に配置すると共に公園に面するレストランも1階に配置することで、一般の方々にも親しみやすい施設計画となるよう配慮した。3-4階の特養部門については、利用者用エレベーターと共にサービス用エレベーターを配置し、調理室からの動線に配慮した。



(2) ユニットケアについて計画上配慮した点

共用リビングを道路及び公園部分に面する位置に計画し、ユニットの中心となるよう位置付けた。各居室でプライバシーを担保しつつ、コミュニティが計れるよう、共用リビングは壁を設けずオープンな設えとした。またパントリーもリビングに向けてオープンな作りとすることで、家庭的な雰囲気をだしつつ、入居者に目が届くよう配慮した。

(3) 高齢者利用という観点でのセキュリティについて配慮した点

徘徊やバルコニーからの転落防止に備え、エレベーター、階段、バルコニーへの掃き出し窓は全て電子錠とし、カードによるセキュリティ管理をすると共にスタッフコーナー及び1階事務室で集中管理できるよう配慮した。また転倒防止や転倒時を考え、床材には弾力性がありつつ滑りにくい材料を選定した。共用部には全て手すりを取り付け、角面はアールを取る等事故防止に配慮した。

(4) 建築物に採用した構造種別、架構形式、スパン割り等を採用した理由及び主要な部材寸法

構造種別は建築物の耐久性、静音性等から鉄筋コンクリートとし、靱性に富み、平面計画に自由度の高いラーメン構造とした。スパン割は、経済性及び施工性に配慮し主として6m×7mとし一部6mx6mを採用した。またレクリエーションホールは無柱とするため12mのPC梁を採用した。

大梁:500x800	柱 : 800x800
小梁:300x500	基礎底盤厚: t=500

(5) 各設備スペースの位置について配慮した点

主要な屋根が勾配屋根であるため、3階屋上のフラットな部分にキュービクル、外気調整機、空調室外機、自家発電機を配置した。3階屋上を利用することによりメンテナンス及び床面積の有効活用に配慮した。EPSは上下階同一の位置として配線ロスを防ぎ、PSは極力横引きを減らす配置に配慮した。給湯は局所式とし、洗面等は小型の電気給湯器を、それ以外はガス給湯器を用いて壁面設置とした。

(6) 空調計画について特に配慮した点

特養部門及びショートステイとなる4人室は24時間空調しつつ、各室の個別空調をするという前提で全館空冷ヒートポンプパッケージ方式のエアコンを採用した。特に天井高さのあるレクリエーションホールは、能力の高い床置きダクト接続型とし、それ以外は天井カセット型とした。換気については、外調機を導入しつつ便所等から機械排気する第1換気方式を取り入れ、必要換気量を確保するよう努めた。

質問欄

※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のみお書き添えください。